

今シーズンのオホーツク海の海氷の勢力は最も弱くなる見込み

今シーズン(2008 年 12 月～2009 年 5 月)のオホーツク海の積算海氷域面積(海氷の勢力)は、1971 年の統計開始以来の過去最小となる見込みです。

オホーツク海の海氷シーズン(前年 12 月～当年 5 月)の海氷の勢力をあらわす積算海氷域面積(注 1)が、2009 年(2008 年 12 月～2009 年 5 月)は、1971 年の統計開始以来の過去最小となる見込みです(注 2)。

今シーズンのオホーツク海の海氷域面積は、過去最小に近い値で推移しています(図 1)。前年 12 月から 4 月までの積算海氷域面積は、平年の 63 %にとどまり、2006 年以来の過去最小となりました(図 2)。4 月末現在の海氷域面積は 31 万平方 km と 2006 年の 84%にとどまることから(図 3)、今シーズンを通した積算海氷域面積は過去最小となる見込みです。

(注 1) 積算海氷域面積: 5 日ごとの海氷域面積の合計値。積算の開始は前年 12 月からで、5 月末までの値をそのシーズンを通した海氷の勢力を表す指標として用いています。

(注 2) 確定値による資料は平成 21 年 6 月 30 日に「海洋の健康診断表」で発表する予定です。

「海洋の健康診断表／海氷のデータ」

<http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/seaice/dbindex.html>

北海道オホーツク海沿岸では、網走で 1946 年の統計開始以来最も早い 3 月 17 日に流氷終日となり、流氷期間は最も短い 43 日を記録しました(1991 年と 1 位タイ)。

オホーツク海付近では、期間中、西高東低の気圧配置が長続きしませんでした。このため、大陸からの寒気の流入が弱く、北寄りの風が持続しなかったため、積算海氷域面積が小さくなったと考えられます。

オホーツク海の海氷域面積は長期的には緩やかに減少していますが、年ごとに大きく変動しています(図 4)。

本件に関する問合せ先:地球環境・海洋部 海洋気象情報室
電話 03-3212-8341(内線 5128)

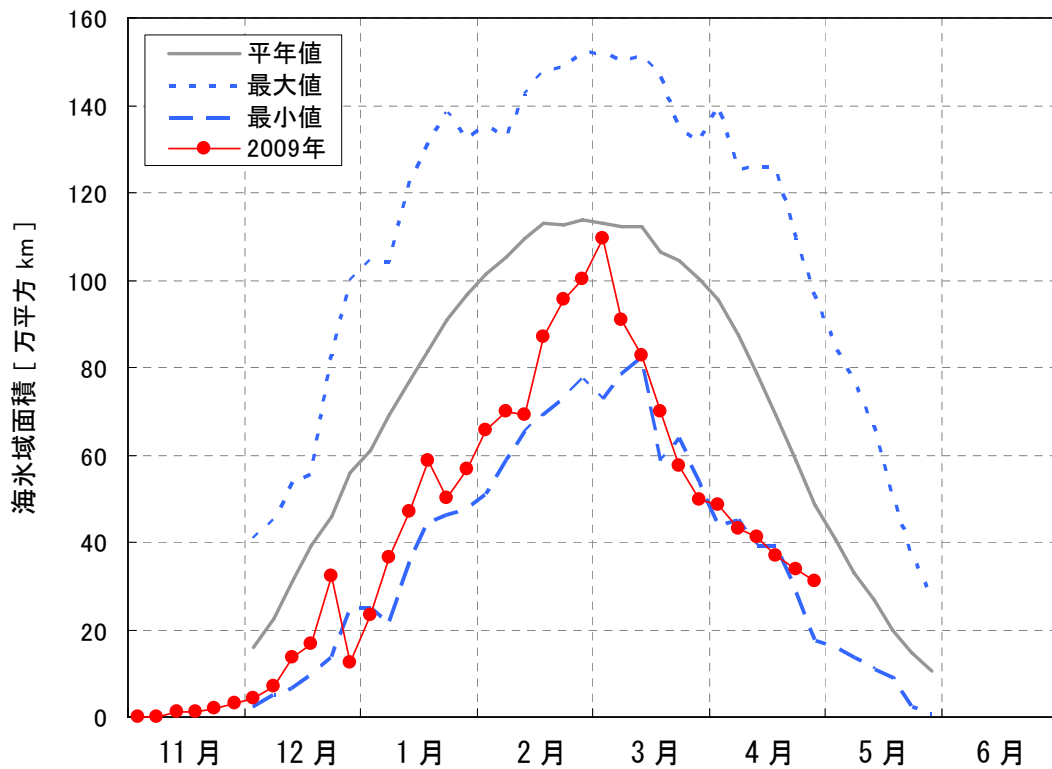


図1 オホーツク海の海氷域面積の経過図

今海氷シーズンの海氷域面積は、3月初めに平年並まで拡大しましたが、期間全体としては、過去最小またはその付近で推移しました。統計期間は、平年値が1971-2000年、最大値・最小値が1971-2008年。

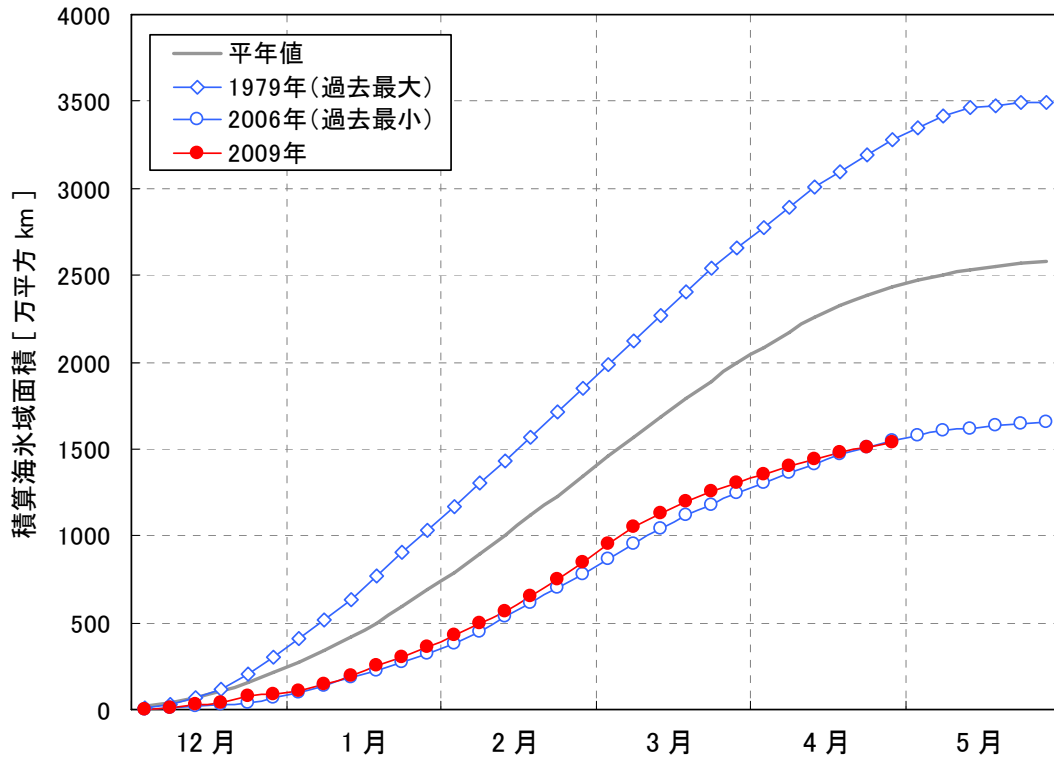


図2 オホーツク海の積算海氷域面積の推移

2008年12月から2009年4月まで5日ごとに積算した海氷域面積は、平年の63%にとどまり、1971年の統計開始以来の過去最小となりました。平年値の統計期間は1971-2000年。

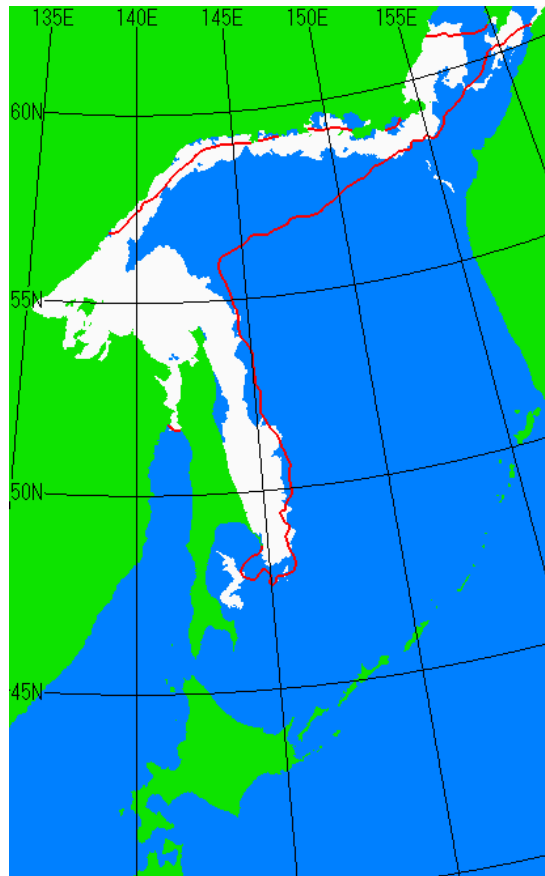


図3 2009年4月30日現在の海氷域
赤線は平年(1971-2000年)の海氷域。

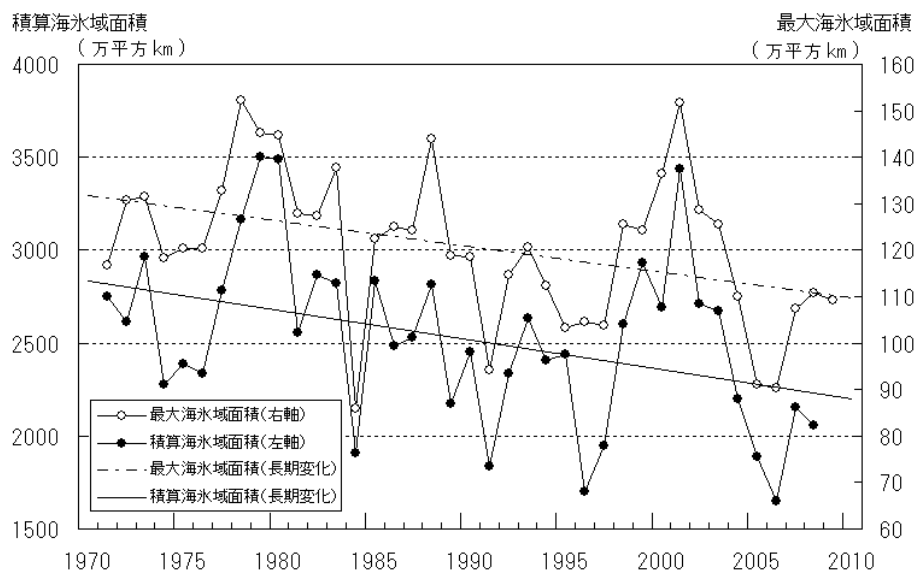


図4 オホーツク海の家氷域面積の経年変化(1971~2009年)

オホーツク海の家氷域面積は長期的には緩やかに減少していますが、年ごとに大きく変動しています。積算海氷域面積は前年12月~当年5月の海氷域面積の5日ごとの合計値、最大海氷域面積は海氷域が年間で最も拡大した時期の面積を表す。